

2024 仙台市下水道フェア

第23回川柳コンクール入賞作品集

主催 仙台市下水道フェア実行委員会

2024 仙台市下水道フェア 第23回川柳コンクール

ご あ い さ つ

仙台市下水道フェア川柳コンクールは、川柳を詠むことを通して、くらしの中の「水」について考えるきっかけとしていただくことを目的に、平成14年度から実施しており、今回で23回目を迎えました。

「くらしと水」、「マンホール」をテーマに、今年度は、児童・生徒、一般の方あわせて214名の皆様から378句のご応募をいただきました。素晴らしい作品を数多くお寄せいただき、心より感謝申し上げます。

下水道は水をきれいにし、大雨から街を守る働きをしている大切なインフラです。下水道管は地下に埋まっているため、普段は直接目にする機会がありません。最も身近な下水道施設と言えばマンホールです。マンホールをご覧になって、その下に下水道があることを想像していただければ、大変嬉しいことだと思います。この川柳コンクールを通して、下水道その他の水環境について考えていただくきっかけとなりましたら幸いです。

この度見事に入賞された皆様の川柳を、表現されている情景や心情を想像しながら心ゆくまでご鑑賞ください。

令和6年10月吉日

仙台市下水道フェア実行委員会

会長 仙台市建設局長 佐藤 秀樹

2024 仙台市下水道フェア第 23 回川柳コンクール

応募者数

	人 数	作 品 数
小 学 生	39 校 114 名	197 句
中 学 生	8 校 22 名	40 句
高 校 生	2 校 4 名	8 句
小 計	49 校 140 名	245 句
一 般	74 名	133 句
合 計	214 名	378 句

選者紹介

雫石 隆子 さん (宮城県川柳連盟理事長)

鈴木 俊光 さん (アナウンサー・パーソナリティ)

佐藤 秀樹 (仙台市建設局長)

<仙台市下水道フェア実行委員会構成団体>

- ・全環衛生事業協同組合
- ・公益社団法人 全国上下水道コンサルタント協会東北支部
- ・全国ヒューム管協会東北支部
- ・一般社団法人 仙台建設業協会
- ・仙台リバーズネット・梅田川
- ・公益社団法人 日本下水道管路管理業協会東北支部 宮城県部会
- ・宮城県管工業協同組合
- ・公益社団法人 宮城県生活環境事業協会
- ・仙台市建設局

【講評】 選者 雫石 隆子

(宮城県川柳連盟 理事長)

二十三回、と言う歴史を重ねた川柳コンクール。令和六年は正月早々に能登地震があり、夏には猛暑と言うより、酷暑の暑さが全国的にありました。この暑さに水は必須です。いつの年にも況して水資源の大切さが作品にも反映されています。課題は「くらしと水」で二十三年間変わりませんが、令和六年は六年の世相が作品の中から読み取ることが出来ます。

またもう一つ、川柳という江戸期以来の伝統文芸を小学生の皆さんが身近に思われ、思いの丈を十七音字にまとめ楽しまれたことです。二百七十年の歴史を持つ川柳を未来につなげよう、と思っていますから若い詠み手が居ることは心強く思います。

これからも感動や気づきを五七五にまとめて、自分自身の記録として残しましょう。また、高齢者のサプリメント、とも言われる文芸です。健康寿命のためにも頭脳のトレーニングとしてお楽しみ下さい。

特選

ひがサンサン

のどがカラカラ

水ゴクリ

宮城教育大学附属小学校三年 後藤 旭陽

【評】

熱中症対策に十分な水の摂取を言われました。下五の「水ゴクリ」の止めが良いですね。上五、中七にもオノマトペを配し、見事な一句です。表記もひらがな、カタカナ、漢字と書き分けも素晴らしい。この秀句に出会い嬉しい夏になりました。ありがとうございます。

ジュニア賞

ホタルはね

キレイな水が

すきらしい

仙台市立東長町小学校三年 鈴木 澄晴

【評】

水の大切さは人間だけではありません。水辺に育つホタルにとっても水質は重要です。この一句も下五の「すきらしい」の止め方が良いですね。伝聞を正直に言い表しています。ホタル、キレイの表記にも感心です。

秀逸

「せんしめろ」

ぼく怒られる

ぶつか高

宮城県立視覚支援学校小学部三年 佐々木 陸

【評】

物価の値上げに汲々とする今年らしい作品です。上五が鍵括弧の中ですが、ご家族の助言を的確に知ることが出来ます。率直な一句もまた、共感を呼びます。

秀逸

蛇口から

名水届く

街に棲む

青葉区 深谷 隆志

【評】

五七五の展開が見事な秀句です。仙台人として誇らしい一句でもありませんね。「名水届く」までの水道事業のご苦労に感謝ですが、水資源への配慮を忘れない暮らしをして名水を楽しみたいですね。

入選

ありがとう

じやぐちをひねれば

きれいな水

仙台市立七北田小学校二年 黒川 千聡

【評】

とても素直な気持ち伝わる作品です。無駄な言葉は一つもなく、水への感謝が表現されており、お手本になる本音の一句です。

入選

もうしよ日に

水のシャワーで

生きかえる

仙台市立長町小学校二年 小華和 叶多

【評】

記録的な猛暑日続きの夏です。シャワータイムが待ち遠しい日々でした。断水のない仙台の水道事業に感謝しました。下五の「生きかえる」がぴったりのです。

入選

水道は

みんなのえがお

まもる物

仙台市立桜丘小学校三年 照井 愛理

【評】

下句の「えがおまもる」の表現が素晴らしい。暮らしの豊かさの基本に水がある。小三年での気づきに驚きました。日頃の観察眼に敬服しました。

入選

水の旅

ずっと続くよ

SDGs

若林区 岡部 祐子

【評】

一般の方はSDGsをモチーフにしています。人間ばかりでなく、生きている全てに不可欠な水。だからこそ水を守る、持続可能な取り組みを訴えています。

入選

大切な

水は地球を

めぐってる

仙台市立将監中学校二年 岡崎 圭祐

【評】

中学生の作者はグローバルな視点で「水」を捉えています。上五の切り出しが「大切」ですから、国や人種を越えて水に責任がある、と貴重な視点です。

入選

じょうろから

トマトにかかれ

水の橋

仙台市立柳生小学校四年 飯島 果歩

【評】

ガーデニングの景色をモチーフとした作品です。下五の比喻「水の橋」が見えて来るようです。水をたっぷり貰ったトマト、美味しい事でしょう。

入選

水がある

みんなの命

つないでる

仙台市立折立小学校五年 小野寺 総太

入選

ポケ蓋を

探すお出掛け

楽しいな

仙台市立八木山中学校二年 田中 幸一

【評】

命と水を直結させた作品。水を通して人と人がつながる、大切な考え方だと思う。命の源を独り占めすることなく、分け合うこともここにある。

【評】

昨年も今年もマンホールをモチーフにした作品は多くありました。全国的にマンホールの図柄が観光誘致を担っています。「たのしいな」の独白が良い。

入選

生活を

陰で支える

水道管

青葉区 佐藤 瞳

【評】

一般の方の作品だが、中七の「陰で支える」が大人の見方と見えます。目立たない事業かもしれませんが暮らしの基礎であると、作者は知っています。

入選

駅のホーム

雨のカーテンで

出られない

宮城県立宮城野高等学校二年 太田 優芽

【評】

線状降水帯、ゲリラ雨の報道が多い今夏です。今までに経験したことのない災害ですが、豪雨でマンホール蓋が浮き上がったのを思い出しました。

入選

僕の家

「水筒持った？」が

合言葉

宮城教育大学附属小学校五年 莊司 鳳介

【評】

多くの家で「水筒持った？」の会話があったと思います。熱中症対策ですが、老若男女問わず水筒持参が日常化した酷暑の暑さです。

入選

付き合いは

一生続く

人と水

若林区 河邊 由貴

【評】

中七の「一生続く」の言葉に実感がある作者。人生は生まれた時の産湯から、末期の水まで「水尽くし」。地球はまさに「水の星」でもあります。

【講評】 選者 鈴木 俊光

(アナウンサー・パーソナリティ 元東北放送)

今年の夏も連日の暑さで、水の大切さ、有り難さを感じました。一方台風や豪雨で水の怖さも学びました。日本の気候は、今年明らかに変わった気がします。それは世界規模かもしれません。国連は、「地球の沸騰化」と表現しました。

最高気温が40度というニュースを何度聞いたでしょう。「酷暑日」という言葉も生まれました。地域で獲れる魚の種類も変わり、収穫できる作物も変わってきました。このまま行くと50年後には東北地方がミカンの産地になるそうです。すでに山元町ではミカンが実っているとか。本気で地球環境の保護に努めなければいけませんね。

さて、今年も大勢の皆さんから上下水道に関心をよせた川柳をいただきました。すっかり寒くなった今日この頃ですが、あの暑かった夏の日々を思い出してみませんか。

特選

イチゴ味

スプーン倒れる

夏盛り

聖ウルスラ学院英智高等学校三年 桜庭 詩菜

【評】

「かき氷」とは一言もありませんが、十分想像させる巧みな技ですね。更にスプーンの動きで暑さのレベルも想像できました。

ジュニア賞

かき氷おおり

たいようのかち

なくおおり

仙台市立長町小学校二年 高橋 音花

【評】

暑い夏の日、かき氷が一番ですよね。シロップの色に一層涼しさを感じます。ただ急いで食べると頭がツーン、ゆっくり食べると……。北風と太陽も太陽が勝ちましたね。

秀逸

子も鳥も

蛇口のそばは

保育園

泉区 大久保 元司

【評】

公園の水飲み場を想像します。そこで遊んではいけません、ついつい長居してしまいます。遠まきに水飲みと水浴びをしようと順番待ちをしているスズメや鳩、「早くよけてくれないかなー」

秀逸

ひまわりや

水の地球に

種落とす

宮城教育大学附属小学校六年 星川 滲良

【評】

夏の終わりと共に命をつなぐ準備をするひまわり、種はコンクリートやアスファルトの上でなく肥沃な水の惑星の台地に落ちたいと思っているに違いありません。大谷選手はホームランを打つたびにひまわりの種シャワーを浴びますが、そんな道を歩む種もあります。

入選

なみが来て

ぼくの名前を

食べちゃった

仙台市立長町小学校二年 刈谷 航大

【評】

寄せる波のサイクルを気にしながら描いた砂絵と名前、何回かの「セーフ」があつて、ついにきた大きな波は全てを丸飲み一気飲み、きれいさっぱり。黒板消しもこのくらい早くできたらね。

入選

ぼくのナス

毎日水やり

食べごろだ

仙台市立東長町小学校三年 鈴木 澄晴

【評】

春に植えたナスの苗、責任もって育ててきました。雑草との戦いもありました。紫の花をつけた時は嬉しかったですね。そして赤ちゃんナスからの成長を見守りました。

入選

いど水で

あらったキュウリ

シャツキシヤキ

仙台市立富沢小学校三年 萱場 公規

【評】

「シャツキシヤキ」がフレッシュさと冷たさを感じさせます。井戸水の温度は年中ほぼ一定で、夏は冷たく冬は温かく感じるといいます。その昔井戸水をくみ上げる「つるべ」にスイカを入れて冷やしていましたね。

入選

暑い日に

氷ガリゴリ

もうひとつ

仙台市立桜丘小学校五年 飯塚 奏太

【評】

本当に暑い日は、甘いアイスよりただの水が一番のごちそう。冷蔵庫の製氷ボックスから取り出した氷を口に放り込み、とけるのを待たずにガリゴリ。…で歯にしみるのを我慢しながらもう一コガリゴリ。

入選

じやぐちから

きらきらひかる

ながればし

仙台市立連坊小路小学校五年 遠藤 爽太

【評】

暗くて細い水道管を通ってきた水が一気に蛇口から飛び散ります。水滴一つ一つに陽が当たりキラキラ光り弧を描く様子は、やっぱり流れ星だよね。

入選

この水と

一周回って

また会える

仙台市立向陽台小学校四年 林崎 真心

【評】

浄水場見学で学んだんですね。使った水はきれいになって川から海へ。蒸発して雲から雨に。地下水となってダムから蛇口へ。今日流した水よ長い旅、行ってらっしゃい。

入選

雪の中

こころにいるよと

マンホール

仙台市立将監中学校二年 寺嶋 愛莉

【評】

確かにそうですね、よく気がつきました。お風呂のお湯や台所のお湯が流れ込むのが下水道ですからね。時々湯気の出ているマンホールもありますよね。滑りやすくもなっています。

入選

雨音に

さそわれ眠る

熱帯夜

仙台市立長町小学校五年 刈谷 芽依

【評】

眠りを誘う雨音なら涼しげでもありますが、最近の雨は「ダーツ」「ゴーツ」更に「ピカー」「ゴロゴロ」これでは寝られません。このところ「夕立」とか「天気雨」という表現が使えない雨の降り方です。

入選

灯籠に

想いを馳せる

広瀬川

仙台市立郡山中学校一年 鈴木 晴奈

【評】

今年も行われた広瀬川灯籠流し。亡くなった方を偲ぶ夏の行事です。灯籠が浮かぶ川が汚れていては申し訳ありません。水面に映る花火も楽しむためにきれいな川を守っていかねばなりません。

入選

マンホール

絵柄写メール

海を飛ぶ

青葉区 岡本 宏正

【評】

デザインマンホールは外国人には珍しく日本らしさのひとつだそうです。中でもアニメのキャラクターは大人気とか。お国の友達に「こんなの見つけ」と自慢げに写メしている様子がかうかがえます。

入選

無沙汰詫び

心を洗う

里の川

青葉区 深谷 隆志

【評】

久しぶりの里帰り。変わった街並み、変わらぬ自然にホッ。私にとっての里の川は石狩川です。

入選

おしやれして

撮って！撮ってと

マンホール

宮城野区 西川 宜孝

【評】

デザインマンホールにはマニアさんいるほどです。仙台駅東口にはイーグルス、泉中央にはベガルタの、青葉山にはセタの目立ちたがり屋のカラマンホールが待っています。去年はデザインコンクールが行われ、受賞作がすでに設置されているようです。

【講評】 選者 佐藤 秀樹

(仙台市建設局長)

2024 仙台市下水道フェア第 23 回川柳コンクールに、たくさんのご応募をいただき、誠にありがとうございます。今年も、幅広い年代の方々から心のこもった句を多くご応募いただきました。

水環境の大切さや日常における水とのかかわりなどについて、皆様の豊かな感性によって、五・七・五の十七音に詰め込んでいただきました。今年も、記録的な猛暑などのニュースがありました。そうした中で改めて感じる水への思いを詠んだ作品も多くありました。

また、本市でもデザインマンホールを通して下水道の広報に取り組んでおりますが、マンホールのデザインを楽しんでいただいていることが伝わってくる作品も多くあり、大変嬉しく思います。寄せられた作品は、環境の大切さや日常の何気ない瞬間を巧みに表現しており、それぞれが個性的でありながら、中には、心温まる作品や、思わず考えさせられる深い意味を持つ作品もあり、楽しく読ませてくださいました。

来年も多くの方々に応募いただけるよう願っております。

特選

かさとして

青色になった

水たまり

仙台市立折立小学校四年 今井 駿之介

【評】
雨上がりの青空を、水たまりの水面に見つけてうれしくなった情景が浮かびます。雨上がりに気持ちも晴れて、清々しさを感ずる素敵な一句と感じました。

ジュニア賞

大きくなあれ

おんぷがうごく

水の中

宮城教育大学附属小学校三年 野上 愛馨

【評】
お玉杓子を飼っているのでしょう。音符のたとえに躍動するリズム感があり、それを楽しげに見ながら、成長を願う気持ちが伝わってくる一句でした。

秀逸

ポケふたを

探す孫との

待ち合わせ

若林区 山田 久美子

【評】

お気に入りのデザインマンホールがあるようです。それを一緒にお孫さんと探すために、待ち合わせる姿がほのぼのと感じられる一句と思います。

秀逸

マンホール

地域の身近な

ガイドさん

富谷市 青木 伶奈

【評】

いまやデザインマンホールは、市内や全国各地のいたるところで、地域の特色を生かした様々な図柄を見ることが出来ます。ガイド役もこなしていることに納得の一句でした。

入選

恵み雨

大合唱が

始まった

仙台市立荒井小学校五年 足立 琥珀

【評】

雨がなかなか降らない中で、待望の雨でしょうか。雨の音があたりに響き渡り、歓喜の歌に聞こえると感じた一句でした。

入選

水やりで

まっかなトマト

あせかいた

仙台市立荒井小学校二年 足立 渚

【評】

はちきれそうな赤く実ったトマトと水をもたらって汗のような水滴が、鮮やかに浮かんでくる一句でした。

入選

下水道

SDGsの

たてやく者

仙台市立立町小学校五年 佐藤 由惟

【評】
そうですね。下水道は、SDGsが掲げるゴール達成に寄与しています。下水道の役割をしっかりと表現していただいている一句と感じました。

入選

微生物

浄化支える

マイヒーロー

宮城教育大学附属小学校五年 佐藤 美織

【評】
汚れた水をきれいに行っているのは、実は目に見えない微生物の献身的な活躍によるものなんです。それをヒーローと称える思いが伝わる句でした。

入選

マンホール

目に焼きついた

仙台七夕

聖ドミニコ学院小学校六年 成田 洸望

【評】

ご当地マンホールは仙台にもありません。その七夕のマンホールが鮮やかだったのでしょう。強く印象を受けた思いが伝わってきます。

入選

伊達の香や

レンガ装う

下水管

青葉区 西牟田 千枝子

【評】

杜の都れんが下水洞窟は、明治時代に造られて、現在も下水道として使われています。その中に入られたときに、空気感とその作りに伊達なものを感じたことと思います。

入選

まるみつけ

あんよでタッチ

マンホール

青葉区 佐々木 愛

【評】

かわいいあんよが、地面にある変わった丸いものを見つけたようですね。興味津々の足どりが、微笑ましく、心温まる一句と感じました。

入選

まん丸の

くらしを守る

たからもの

仙台市立向山小学校三年 澁谷 希実

【評】

「たからもの」に、下水道は快適な暮らしを支える無くてはならないものであり、また、マンホールの様々な絵柄を探ることが宝探しのように楽しいという2つの意味が込められた印象深い一句でした。

入選

生まれたて

もう溶けてゆく

かき氷

宮城教育大学附属小学校六年 谷口 孝太郎

【評】

出来上がったばかりのかき氷が、猛暑であつという間に溶けていきますよね。暑さの中で早く食べなきゃという思いが伝わってきます。

入選

水に聞く

地球めぐりは

何周目

仙台市立東長町小学校六年 赤井澤 宏介

【評】

水は地球を循環していて、一体どれくらい巡っているのか想像もつきません。水に敬意を払いながら、問いかけたくなる気持ちがあります。

入選

運動会

ゴール一番

水がぶり

青葉区 岡本 幸子

【評】

全力で走り、一番でゴールを駆け抜け、真っ先に水飲み場へ向かったのでしょうか。水がご褒美となつて、嬉しくてすがすがしい気持ち伝わってきます。

入選

傘一つ

雨粒の音

仲直り

聖ウルスラ学院英智高等学校三年 桜庭 詩菜

【評】

喧嘩したけど、傘が一つしかなく、二人で一緒になる羽目に。傘にあたる雨音を聞いているうちに、仲直りできましたね。心安らぐ一句と思いました。



仙台市下水道
マスコットキャラクター
だんたくん